

令和2年度第1回地域包括ケア事例研究会
(新しい生活様式における生活支援を考える)

1 開催趣旨

新型コロナウイルスの感染拡大により、介護分野においては、施設等における感染防止への対応、4月及び5月における通所サービス利用者減等に対する経営面の問題の発生、外出自粛生活を原因とした要介護状態の悪化など、様々な影響を受けており、特に、地域包括ケアシステムの構築により広がりつつあった地域のネットワーク構築、高齢者の社会参加については、大きな影響を受けています。

そこで、関東信越厚生局では、市区町村職員及び生活支援コーディネーターの方を主な対象として、感染拡大下の取組状況について調査を行った埼玉県立大学の川越雅弘教授、生活支援の実態に接してきた公益財団法人さわやか福祉財団の鶴山芳子理事等を講師に迎え、事例研究や意見交換を通じて、新しい生活様式における生活支援を考え、課題解決のヒントを得ることを目的として事例研究会を開催したいと考えております。

2 日時及び場所

- (1) 日時 令和2年9月18日(金) 13時30分～17時00分
- (2) 場所 さいたま新都心合同庁舎1号館1階 多目的室1-1・1-2 (予定)
(埼玉県さいたま市中央区新都心1-1)

※ 状況によりオンライン開催又は延期等となる場合があります。お申込みいただいた方には、9月初旬に、参加の可否とともに最終的な連絡をいたします。

3 参加対象

管内市区町村の職員及び生活支援コーディネーター
(50名程度、一市区町村最大2名まで。)

※ 可能な限り多くの市区町村に参加いただきたいため、応募が多数となった場合には、2名で応募いただいた市区町村に1名への変更をお願いする場合があります。

4 申込方法及び事前提出資料

(1) 申込方法

関東信越厚生局ホームページの地域包括ケア推進課のページにおいて、令和2年8月14日(金)に参加申込用紙を掲載しますので、ご確認いただき、メールにより令和2年8月28日(金)までにお申し込みをお願いします。(先着順)

(2) 事前提出資料

参加申込書には、意見交換したい内容、現在までの取組状況(別紙記載可)、講師等への質問事項の欄、また、オンライン開催となった場合を想定し、使用可能なウェブサイト等を記載いただく欄などがありますので、お申し込みの際に記載してください。

なお、講師から依頼があった場合は、参加可能となった方に追加の質問事項への回答をお願いする可能性がありますので、その際にご対応をお願いいたします。

5 内容(予定)

- (1) 挨拶及び趣旨説明
- (2) 行政説明：老健局振興課 田中明美補佐(生駒市より出向)
- (3) 基調講演：埼玉県立大学 川越雅弘教授
- (4) 事例紹介：公益財団法人さわやか福祉財団 鶴山芳子理事
- (5) グループワーク